

福山市農業委員会委員 推薦及び応募の状況（結果公表）

受付年月日	受付番号	推薦応募の別	被推薦者又は応募者に関する事項							推薦者に関する事項							共通事項		
										法人その他の団体による推薦					個人による推薦				
			氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況	認定農業者等該当	名称	代表者又は管理人の名前	目的	構成員の数	構成員の資格等	氏名	職業	年齢	性別	推薦又は応募の理由
2026/1/13	1	応募	松岡 久之	会社員 (契約社員)	67	男	株式会社Asahicho 本社工場	水稻・露地野菜 50アール										私は現在、契約社員として勤務する傍ら、福山市内で50アールの田んぼで「きぬむすめ」を中心に稻作を行っております。小規模ながら栽培に取り組む中で、米の味や品質にこだわり、肥料や水管理を工夫することで地域の消費者に喜ばれるお米づくりを心がけております。 しかし近年は、農家の高齢化や耕作放棄地の増加、夏季の高温障害や台風・大雪などの自然災害が多発するなど、地域を取り巻く課題の深刻さを肌で感じております。 年齢を重ねる中で、第二の仕事として、こうした経験を生かし地域農業に貢献できる役割を求め、農業委員に応募しました。 これまでの社会人で経験し培った調整力や対話力を活かし、農地利用の適正化や地域農業者の声の反映に努め、福山市の農業の持続可能性向上に寄与したいと考えております。	—
2026/1/21	2	推薦	山本 利行	農業	70	男	深安郡神辺町役場（建設課） 福山市役所（神辺建設産業課） 農事組合法人ファームタ日の里（副組合長理事）	水稻・果樹・その他 2838アール	○	深安郡神辺町土地改良区 久川 廣昭	土地改良事業等の実施及び土地改良施設並びに用排水の管理、県営土地改良事業等で造成された施設の管理	3,521	土地改良法第3条に定める各号のいずれかに該当する者					山本利行氏は、本土地改良区の区域内で農業を営む認定農業者（農事組合法人ファームタ日の里の副組合長理事）であるが、八尋地区はもとより、周辺地区の耕作放棄地となる恐れがあった農地について、農地中間管理機構による集積を推進し、農地の保全に務められている。 また、行政職員時に培った経験や知識を最大限生かし、組合員のみならず、個人農業者への営農指導や助言をされるなど、福山地域の農業振興に大きく寄与されている。 本土地改良区が取り組んでいる排水機場、頭首工及び樋門（井堰を含む）などの農業用排水施設の整備事業に際しては、地域の担い手として円滑な事業推進にも尽力されている。 今後も本土地改良区と連携し、農業農村整備事業による排水機場、頭首工及び樋門（井堰を含む）などの施設整備を推進するとともに、福山市が策定した地域計画（地域農業経営基盤強化促進計画）に基づく農地の集積・集約化、耕作放棄地の解消に向けた取り組みを期待していることから、農業委員に推薦するものである。	—
2026/1/22	3	応募	藤井 康宏	農業	71	男	京都府井手町役場（建設課・同和対策課） 自営（環境改善事業） 農業	水稻・露地野菜 15アール									農業の将来に非常に不安を感じております。地域の高齢化した地権者・耕作者の人達の一助になれたらと思い応募しました。	—	
2026/1/22	4	応募	岩瀬 益造	会社員	77	男	平和建設（株）・平和地下開発（株） 株式会社山本木材店 広建測量設計（株）・広建コンサルタンツ（株）チーフエンジニア ピップ物流（株）福山センター (有)エキスパート 南興測量設計（株）広島営業所 所長	-									土地改良事業（国営事業・県営事業・団体営等）の様々な工種（ため池・農地造成・ほ場整備・農道・用排水路・頭首工・水利施設等）に携わってきた経験値が、農政・農業振興の分野において役立つものと考えています。	—	

福山市農業委員会委員 推薦及び応募の状況（結果公表）

受付年月日	受付番号	推薦応募の別	被推薦者又は応募者に関する事項							推薦者に関する事項							共通事項		
										法人その他の団体による推薦					個人による推薦				
			氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況	認定農業者等該当	名称	代表者又は管理人の名前	目的	構成員の数	構成員の資格等	氏名	職業	年齢	性別	推薦又は応募の理由
2026/1/26	5	応募	高橋 勝己	派遣社員	60	男	株式会社中国銀行 一般職員	露地野菜・果樹 2アール										私には少しばかりですが神辺町に親より相続した親族と共有の農地があります。近年、そのすぐ近くの農地上にも太陽光発電設備が目立つ様になりました。また、休耕田なども目になると残念な思いを抱くとともに漠然と将来の食への危機感を覚えました。地域の将来を支える農地の保全に強い関心があり、農業委員として地域に貢献したいと考え応募しました。前職で培った調整力や事務処理能力を活かし、公正中立な立場で職務に取り組み委員としての責任を果たしたいと思います。	—